



*Deutschlands
Mittellage*

ドイツの中央位置論

－再検討の試み－

ZOOM 開催

2022.2.26(土) 14:00-16:30

主催：「近現代ドイツにおける地理的『中間』の思想史」研究班 / 共催：神戸大学国際文化学研究推進センター

研究報告会「ドイツの中央位置論・再検討の試み」

2022年2月26日（土）

14:00～14:10 趣旨説明

14:10～14:40 報告（1）「20世紀ドイツにおける中央位置論の展開」

…………野上俊彦（神戸大学国際文化学研究推進センター・協力研究員）

14:50～15:20 報告（2）「社会システム理論における〈中間〉概念の動態化」

…………畠中茉莉子（神戸大学国際文化学研究推進センター・協力研究員）

15:30～16:30 コメント・議論・質疑応答

…………高橋秀寿（立命館大学）／報告者2名／参加者

かつてドイツには、自分たちが「西欧と東欧との中央に位置する」ことを強く意識し、自国の歴史や未来をこの「中央位置」と結びつけて論じる人々が存在しました。彼らは「西欧」への憧れ・対抗意識と「東欧」への差別意識とを混ぜ合わせ、あるいは逆に「西欧」への嫌悪と「東欧」への親近感とを組み合わせるなどして、さまざまな立場に分かれていきました。

長らくドイツ史は「西欧」との比較図式の中で理解されることがたいへん多かったのですが、近年では上のような「中央位置」の議論（東西の隣人に対する意識・態度）も含めて、より多面的にドイツ史を理解することの必要性が説かれています。

今年度「近現代ドイツにおける地理的『中間』の思想史」研究班は、個性記述と理論構築の両アプローチによって、「中央位置」論の分析に取り組んできました。このたびの研究成果をここに公開いたします。忌憚のないご意見・ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

ご関心のある方は、下記QRコードかURLからお申し込みください。



参加申込 URL : <https://forms.gle/z8jtdXSMnfR2iFpMA>

主催：研究プロジェクト「近現代ドイツにおける地理的『中間』の思想史」研究班

共催：神戸大学国際文化学研究推進センター（Promis）

お問合せ：nogamitoshihiko@googlemail.com（神戸大学国際文化学研究推進センター・野上俊彦）